

《データの読み方：教職員健康診断用》

	BMI	BMI(Body Mass Index)値は身長に見合った体重かどうかを判定する数値です。	
血液検査	白血球数(WBC)	高値または低値の場合は感染症にかかっている可能性があります。また、喫煙者で高値となることがあります。	
	赤血球数(RBC)	増加している場合は多血症、減少している場合は貧血が疑われます。	
	血色素量(Hb)	血色素とはヘモグロビンのことで、酸素の運搬役を果たします。減少している場合、貧血などが考えられます。	
	血小板数	出血した時、血を止める働きをします。	
	白血球分類	白血球には5種類(好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球)あり、様々な疾患、病態により影響を受けます。	
	血清総蛋白 アルブミン(A) グロブリン(G)	血清中の蛋白はアルブミンとグロブリンに分けられます。栄養状態の指標や、肝疾患の程度を判定するのに役立ちます。	
	総ビリルビン	肝胆道系疾患や溶血により上昇します。増加すると黄疸が出現します。	
	ALP	おもに肝胆道系および骨に異常があると上昇します。	
	γ-GTP	肝胆道系に異常があると上昇します。アルコールの過剰摂取でも上昇します。	
	ALT(GPT)	肝臓に多く存在する酵素で、肝障害の指標になります。	
	AST(GOT)	肝疾患、心疾患、筋疾患、血液疾患などで上昇します。	
	コリンエステラーゼ	肝臓で合成されるたんぱく質で、肝疾患などで低値を示します。	
	LDH	肝臓病、心臓病、血液疾患、筋疾患などで上昇します。	
	血清アミラーゼ	膵臓と唾液腺に存在し、これらの臓器の炎症などにより上昇します。	
	血糖(PG)	糖尿病などで上昇します。	
	HbA1c(NGSP)	糖尿病の血糖コントロール指標の一つです。	
	HDLコレステロール	善玉コレステロールとよばれるもので、少ないと動脈硬化の危険性が高くなります。	
	中性脂肪	値が高いと動脈硬化を進行させます。肥満や糖尿病にともなって上昇することがあります。	
	LDLコレステロール	悪玉コレステロールとよばれ、多いと動脈硬化を進行させ、心筋梗塞や脳梗塞を起こす危険性が高くなります。	
	nonHDLコレステロール	中性脂肪の値が400mg/dL以上の時に使われる指標です。	
	クレアチニン	腎臓の機能が低下していると上昇します。	
	尿素窒素(BUN)	腎臓の障害や脱水などで上昇します。	
	尿酸	高い状態が続くと、関節痛(痛風発作)を起こしやすくなります。また、尿路結石も作られやすくなります。	
	※RA・抗CCP抗体	関節リウマチの診断に用います。	
	※腫瘍マーカー	AFP(αフェトプロテイン)	肝細胞がんの診断に用います。
		CEA	おもに大腸がん、胃がん、肺がん、甲状腺がんの診断に用います。
CA19-9		おもに膵がん、胆のうがんの診断に用います。	
PSA		前立腺疾患で上昇します。	
CA125		おもに卵巣など婦人科領域疾患の診断に用います。	
HCV抗体	過去の感染を含めC型肝炎ウイルス感染の診断に使用します。(40歳時に実施)		
※TSH・FT4	甲状腺機能の評価に用います。		
※BNP	心不全を診断する指標になります。(心臓病検診オプションに含まれます。)		
※CYFRA・ProGRP	おもに肺がんの診断に用います。(肺がん検診オプションに含まれます。)		
尿検査	尿蛋白	腎臓の障害により増えます。腎炎、糖尿病腎症などが考えられます。	
	尿潜血	腎・尿路系疾患により増えます。	
	尿ウロビリノーゲン	肝疾患、血液疾患の指標になります。非特異的に上昇する場合もあります。	
	便潜血	便中に含まれる血液の有無を調べます。大腸の疾患の診断に有効です。	

※オプション検査

川崎医科大学附属病院 健康診断センター(2023年9月改訂)

「C判定外来」のご案内

身体の状態をもう一度確認してみませんか。
以下のような方にお勧めです。

- ・健康診断で3ヵ月後、6ヵ月後の再検査を指示された
- ・生活習慣改善後の効果を確認したい
- ・普段と違う状況で健康診断を受診したため検査値を再確認したい
- ・ご自身の健康が気になる



【曜日・時間】

月～土曜日 8時30分～10時00分

【内容】 *検査項目の追加変更はできません

身体測定：身長、体重、BMI、腹囲、血圧

血液検査：脂質 { 総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、
nonHDLコレステロール、中性脂肪 }

肝機能【ALT(GPT)、AST(GOT)、 γ -GTP】

腎機能【尿酸、クレアチニン】

血糖【空腹時血糖、HbA1c(NGSP)】

結果説明

生活指導（保健指導、運動指導）

【料金】 1250円（税込）

*自由診療のため、医療保険は利用できません。



*完全予約制です。受診希望日の2週間前までにご予約ください。

*検査前日の食事は午後9時までにしてください。

検査当日は食事をせずお越しください。水のみ飲んでいただくことは可能です。

*検査当日は、糖尿病の薬は、絶対に内服・注射しないでください。

その他の内服中の薬は主治医にご確認の上、可能であれば控えていただき、検査終了後に内服してください。

C判定外来で再検査をした結果、さらなる改善や治療が必要と
医師が判断した場合は専門科へ紹介させていただきます。



【問い合わせ先】川崎医科大学附属病院 健康診断センター（内線23800）

TEL (086) 464-1173（直通）

月～金曜日 9:00～16:00 土曜日 9:00～12:00

